

## 「酒蔵ツーリズム」で日本酒のふるさと三輪に賑わいを

今西酒造株式会社 奈良県桜井市

日本酒のふるさととして知られる奈良県桜井市三輪は、酒造りの神を祀る大神神社おおみわじんじゅの門前町として栄えてきた町。現在でも全国から蔵元や杜氏が参拝に訪れるが、観光という面ではこれまであまり活用されていなかった。また、地元を離れる若者が多く、町の活気は失われつつあった。

このような状況に危機感を持った住民が、まちづくりのNPOを設立してイベントを開催するなど、最近、町は賑やかさを取り戻しつつある。しかし、地域が経済的に潤うような仕組みはなく若者がこの地へ戻ってきて商売や永住するには、町の魅力は十分とはいえなかった。

そこで立ち上がったのが、今西酒造株式会社の今西将之社長だ。同社は、日本酒「三諸杉」みむろすぎ「鬼ごのみ」を製造する1660年創業の老舗の蔵元であるが、周知のとおり日本酒の販売量は全国的に減少傾向にあり、業界の環境は決して良いとはいえない。そこで、「町を元気にし、地域を活性化させること」と「自社のブランドメッセージを消費者に明確に伝えること」の2つの目的を持って「酒蔵ツーリズム」という新たな事業分野へ進出した。

「酒蔵ツーリズム」は日本酒のふるさとという利点を活かしたガイド付き日帰りツアーで、具体的には大神神社への参拝と古来の風習に習った「酒と卵」のお供え体験、酒蔵での仕込み見学、利き酒体験など幅広いメニューを用意している。



大神神社拝殿をガイドする風景（左）



酒蔵案内（右）

なお、同事業は経済産業省の「平成25年度地域資源活用事業」の認定を受けている。

この事業は、短期的にはツアー料金と付随する土産物販売、中長期的には地域が経済的に潤う仕組みとともに自社ブランド向上による本業の売上に繋げていくという意図を持っている。

ツアーを実施してから半年が経過したが、古いにしえから日本人に親しまれてきた酒の歴史など興味深い史実に触れることで、ツアー参加者に大変好評である。

今西社長はこうした参加者の探究心に応え満足してもらうには、レベルの高いガイドの育成が必須と考えている。このため、ツアーガイドを有料とし、外部コンサルタントによる研修や勉強会等の費用に充当している。

地域に賑わいを取り戻すことを目的にスタートした「酒蔵ツーリズム」。「今後は、桜井市内にある別の観光資源や明日香村など近隣市町村との連携により、三輪だけでなく奈良県内への観光客を増加させることと、多様化する観光客のニーズに十分対応するため、ガイドの力量をさらに上げることに取り組みたい」と今西社長は次のステップに向けて意欲をみせる。（丸尾尚史）



本店（左）

昼食付きコースでは蔵人のまかない料理「酒鍋」（10～3月）がいただける。（右）



今西将之社長

### 今西酒造株式会社

〒633-0001 奈良県桜井市三輪 510

TEL: 0744-42-6022

FAX: 0744-42-3612

URL: <http://www.imanishisuzou.com/>